

高知県工業技術センターだより

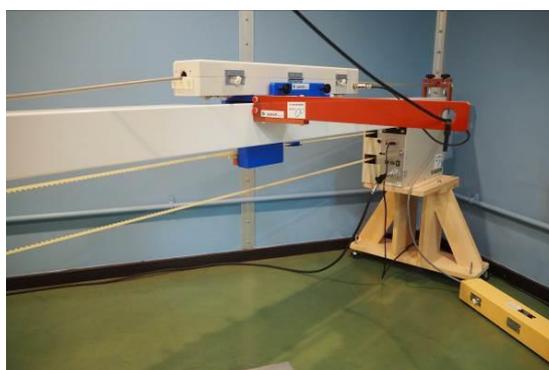
▶試験設備導入のお知らせ（生産技術課）

当センターでは、公益財団法人 JKA の 2022 年度公設工業試験研究所等における機械設備拡充補助事業に採択され、「伝導 EMC 試験システム」を新たに導入しました。

電気、電子製品等は、それらから発する電磁的妨害ノイズ（以下、ノイズ）が他の機器に対しても影響を与えず（エミッション）、外部からのノイズの影響を受けずに製品として正常に動作すること（イミュニティ）が求められています。このエミッションとイミュニティの両方が成立している状態が EMC（電磁両立性）であり、法律や規格により試験方法や許容レベルが規定されています。

今回、導入した伝導 EMC 試験システムは、製品のケーブルを通じて伝わるノイズ（伝導ノイズ）の EMC 試験が可能です。具体的には、(1)製品の電源ケーブルを通じて放出されるノイズの測定、(2)製品に無線機器由来のノイズを加えて製品の誤動作の有無を評価することが可能です。

詳細は、工業技術センター生産技術課（088-846-1653）まで、お問い合わせください。



伝導 EMC 試験システム(株式会社テクノサイエンスジャパン)



この装置は競輪の補助を受けて導入しました。

<伝導 EMC 試験システムの主な仕様>

(1)伝導エミッション試験

【対応規格：電気用品安全法技術基準 別表第 10、別表第 12 J55014-1:H27 等】

- ・試験周波数範囲 雑音端子電圧測定：9k~30MHz
雑音電力測定：30M~300MHz
- ・使用機器：EMI テストレシーバ ESR3（ローデ・シュワルツ製）
- ・その他：疑似電源回路網 単相 15A、クランプ自動走行装置、吸収クランプ

(2)伝導イミュニティ試験

【対応規格：IEC 61000-4-6:2013,JIS C61000-4-6:2017】

- ・試験周波数範囲：150k~80MHz
- ・使用機器：信号発生器、RF パワーアンプ、パワーメータ
- ・その他：CDN M1、単相 CDN M2/M3、三相 CDN M4、CDN ST08A、EM クランプ、カレントプローブ

▶試験設備導入のお知らせ（資源環境課）

当センターでは、公益財団法人 JKA「2022 年度公設工業試験研究所等が主体的に取り組む共同研究事業」の補助を受けて、以下の機器を導入し、研究を実施しました。

<サンプリングポンプ>

大気中に存在する匂い成分などを定量的に収集することが可能なポンプです。

本研究では、樹脂とバイオマス資源を混練する際に発生する揮発性のガスを分析するために活用しました。



サンプリングポンプ MP-W5P
(柴田科学株式会社)



この装置は競輪の補助を受けて導入しました。

お気軽にお問い合わせください。

088-846-1111

受付時間 平日 8:30 ~ 17:15



高知県工業技術センター
Kochi Prefectural Industrial Technology Center

